

2-4. 子育て支援策の充実

(1) 現況と課題

核家族化や女性の社会進出等に伴い、本町の保育園への入園児数は増加しています。保育ニーズの高まりを踏まえて、平成17年4月には小規模保育園2園が開園し、待機児童ゼロの実現と、子育てと仕事の両立を支援しています。

地域社会との関係が希薄化しつつある現代社会においては、子育てが孤立化しがちであるため、子育てに伴う不安やストレスが軽減できるように、子育て相談業務や安心して児童を遊ばせることができる環境づくりが重要です。こうした背景から、本町ではこれまで児童館や保育園を利用した子育て支援事業の充実を図ってきました。

安心して子育てができる環境をさらに充実させるため、地域と協力した子育て支援のネットワークの充実、子育てに関する相談機能の充実、子どもの居場所づくり、保育サービスの充実などに取組む必要があります。

(2) 5年間の政策目標

- ①「子育て 親育ち 地域育ち」をテーマに、子育てを地域で支える仕組みを確立します。
- ②子育て相談や学習機能を充実させ、子どもが健全に育つ環境を整備します。

(3) 施策

2-4-1. 保育園の適正な運営と保育サービスの充実

子育てと仕事が両立できるように、長時間延長保育、休日保育などを充実させて、働く親に対するサポート体制を強化します。また、公立保育園の指定管理者制度*の導入等を進め、保育サービスの充実を図ります。

指標	平成16年度	平成22年度
①長時間延長保育実施園 (単位：園)	0園	2園
②休日保育実施園 (単位：園)	1園	2園
③保育園運営委託園(※1) (単位：園)	0園	2園

(※1 平成18年度から「たから保育園」に指定管理者制度導入)

【事業】

- 保育園の適正な運営と保育サービスの充実
 - └ 特別保育事業費

2-4-2. 「居場所づくり」あそぼうねっとプロジェクト

地域で子どもたちが仲間や異世代との交流が図れるよう、地域において様々な活動の機会をつくります。そして、社会性を学び、柔軟な感性を育むことができるよう、地域全体が子どもたちの居場所となるように支援していきます。

指標	平成16年度	平成22年度
①昔の遊び体験(お手玉、ベーゴマ他) 年間開催回数 (単位：回)	0回	30回
②3世代体験教室(さつまいも、米づくり他) 年間開催回数 (単位：回)	0回	22回
③自然体験(歴史探訪、動植物観察他) 年間開催回数 (単位：回)	0回	20回

【事業】

○「居場所づくり」あそぼうねっとプロジェクト

└ 地域交流ネットワーク事業費

【関連施策】

5-1-3 体験(自然・社会・生活)学習の充実 5-3-2 体験・交流活動の充実

5-4-2 体験型・伝統芸能子ども教室の開催 6-1-2 住民協働推進計画の策定と運用

2-4-3. 食育教育の推進

食べ物を大切にせる教育や、食の安全性と栄養に関する学習機会を、保育園や児童館、学童保育所を通じて提供し、食育教育の普及を図ります。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
①保育園農園体験年間開催回数 (単位：回)	0 回	3 6 回
②食育指導（保育園、児童館、学童等）年間開催回数 (単位：回)	1 1 回	2 8 回

【事業】

○食育教育の推進

└ 食育推進事業費

【関連施策】

2-1-1 正しい食生活づくり 4-1-1 循環型農業への取組み推進

5-1-4 食に関する指導の充実 5-3-2 体験・交流活動の充実

2-4-4. 育児情報の提供

地域の人材を活かした子育て環境をつくるため、子育て支援総合コーディネーターを活用し、子育て相談体制の充実や子育て情報の収集を行います。子育て支援拠点施設「きのこのもり」において、地域の方々から地域へ子育て情報が提供できるよう支援していきます。

2-4-5. 学校と地域が連携した子育て

学校と地域がより密接に関係するために、地域住民やPTAの中から自主的に活動できる地域パートナーを産み出し、学校支援ボランティア等と連携しながら、地域人材を活用した学校のサポート体制が図れるよう支援します。

2-4-6. 仕事と子育ての両立の支援

企業において、子育てしやすい職場（出産後職場復帰がしやすいこと、男性でも育児休暇が取得しやすいこと等）環境が整備されるよう、積極的な情報提供を行います。また、企業の子育て支援状況をチェックするための民間による第三者評価システムの導入や、企業支援センター設立に向けた支援を行います。

2-4-7. 児童虐待防止ネットワークの充実

児童虐待や配偶者からの暴力、いじめなどを早期発見し、早期対応をとるため、定期的なケア検討会の開催、要保護児童への訪問、育児支援家庭訪問コーディネーターの活用などを行うことにより、保護、支援、アフターケアに至るまでの総合的な支援体制を充実させます。また地域からの情報が得られるようネットワークづくりを強化していきます。

(4) 効率化目標

①子育て情報の提供

地域の人材を活かした子育て環境をつくるために、子育て相談体制の充実や子育てネットワークを構築し、地域住民の有志による子育て情報の一元化を図り、子育て支援拠点施設「きのこのもり」が子育て情報の発信基地となるよう支援します。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
子育て情報の提供（ホームページ） (単位：回)	—	毎月更新（12回）

②地域子育て支援センター機能の充実

育児不安等の相談指導、子育てサークル等の育成や支援、特別保育事業等の積極的实施や普及促進など、生活に身近な地域で気軽に相談が受けられるよう、地域と密着した事業を支援します。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
地域子育て支援センター（※2） (単位：箇所)	みんなのひろば きのこのもり にじいろ保育園 3箇所	4箇所
要保護児童ケア検討会 (単位：回)	年2回	毎月1回

(※2 児童館、保育園、その他公共施設などを利用する)

(5) サービス向上目標

- ・ 保育サービスの充実のために、長時間延長保育と休日保育を2園で実施します。
- ・ 子育ての不安・負担感を緩和するために町内保育園に地域子育て支援センター機能の充実を図ります。